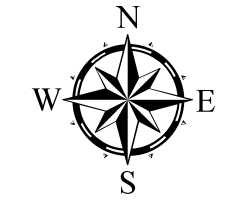


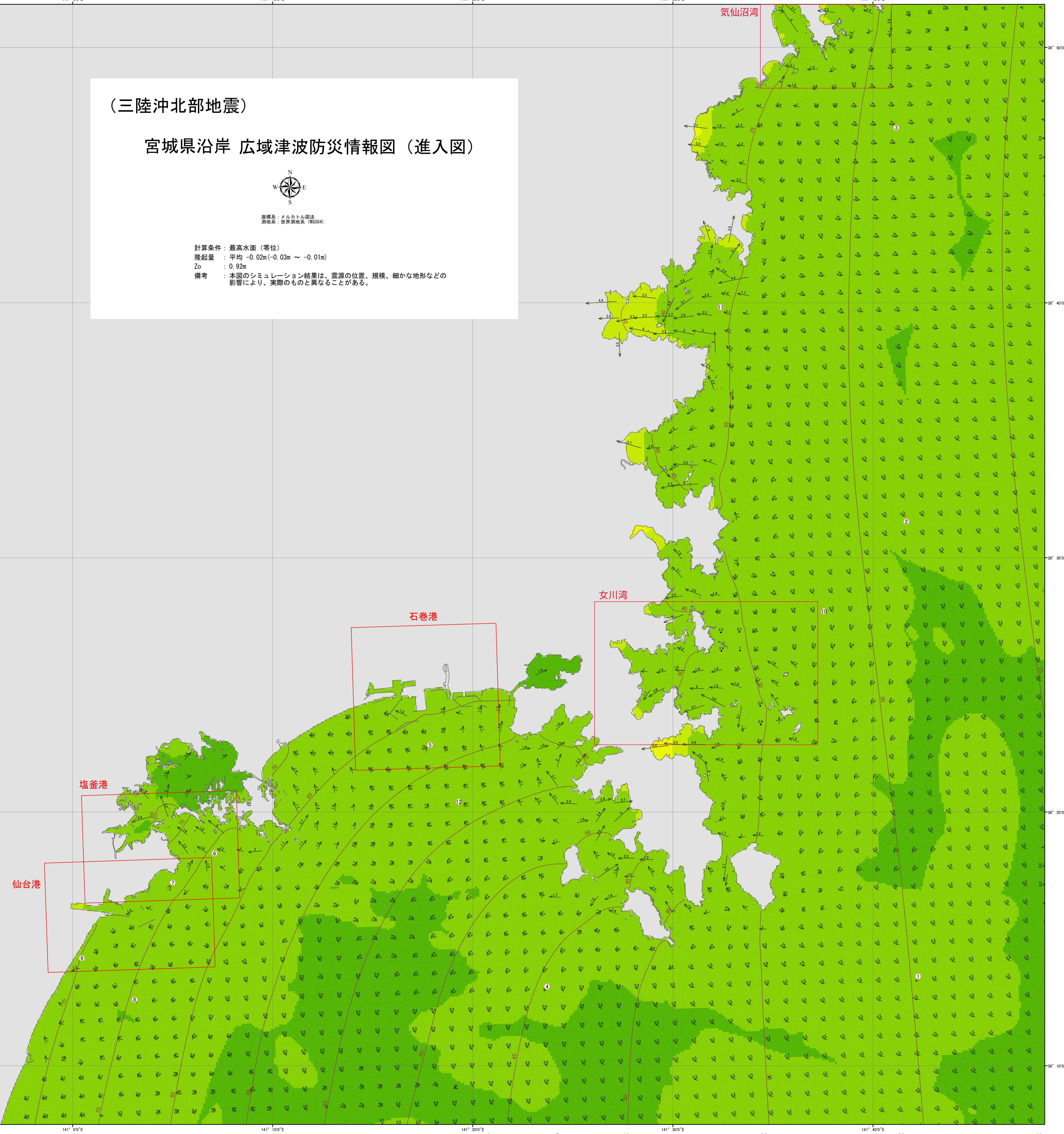
# (三陸沖北部地震)

## 宮城県沿岸 広域津波防災情報図 (進入図)



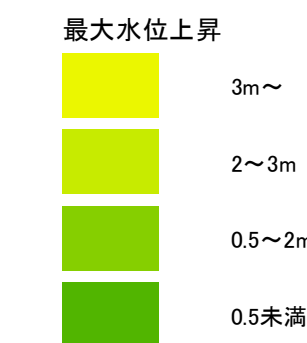
座標系：メルカトル図法  
測地系：世界測地系 (WGS84)

計算条件：最高水面（零位）  
隆起量：平均 -0.02m (-0.03m ~ -0.01m)  
Z0：0.92m  
備考：本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



### 凡例

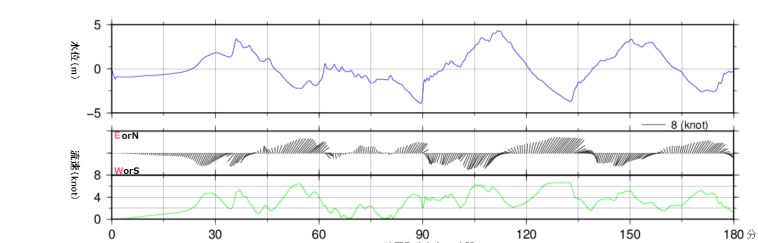
水位上昇(+10cm)となる等時線(分)



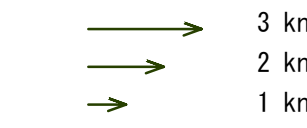
⑩ 経緯変化出力点

(図上の位置における津波の挙動を個別の経緯変化図で示す。)

⑨ 水位、流向・流速経緯変化図

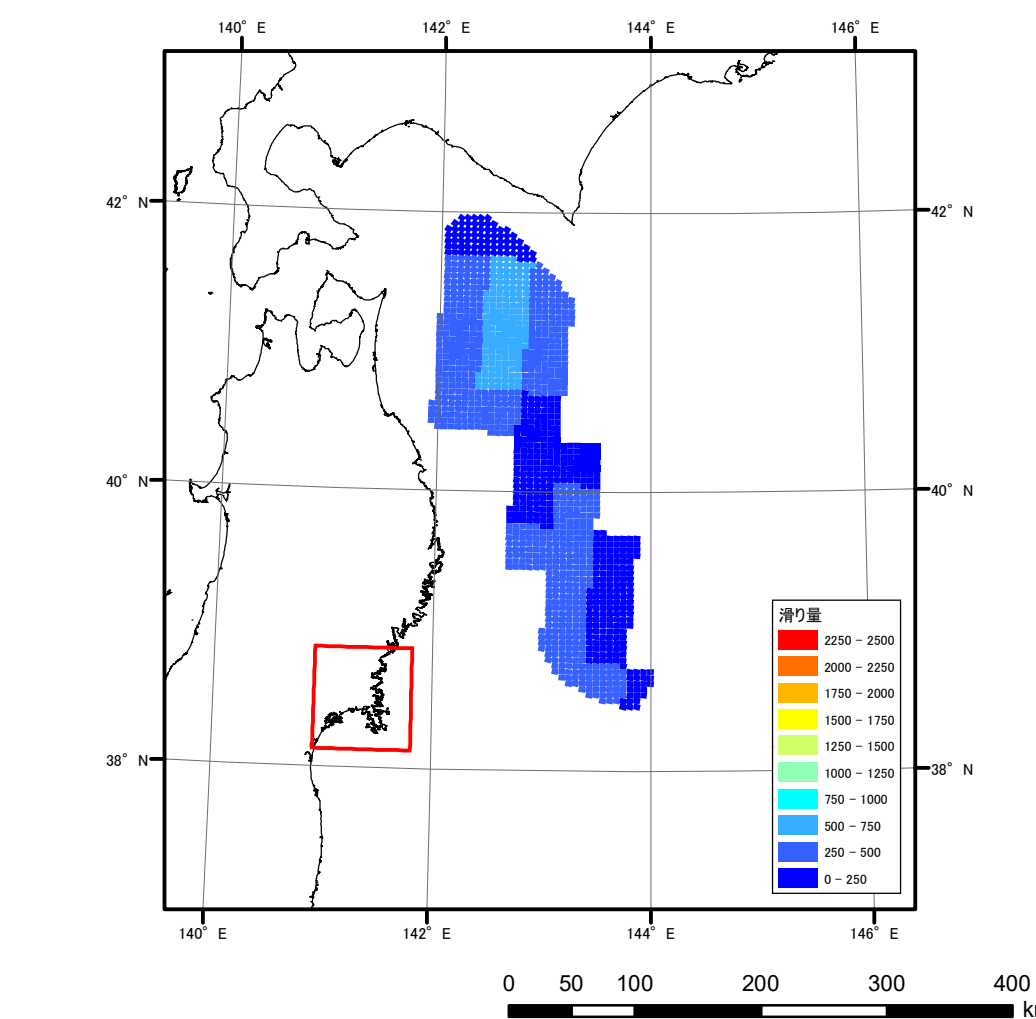


### 進入時最大流 [knot]



- 流向、流速の表示については、陸岸から概ね500m以上の地点から表示した。
- 流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な区域では、流速のみを表示した。
- 津波の到達時間は、水位が最高水面から10cm変動した時点算出している。
- 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。

### 断面モデル



三陸沖北部地震  
モーメントマグニチュード Mw 8.4

本断面モデルは、平成18年に中央防災会議「日本海溝・千島海溝周辺型海溝地震に関する専門調査会」により公表されたものである。

- 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
- 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
  - ・海上保安庁が保有する水深データ

作成機関：海上保安庁  
防衛情報作成年月：平成29年12月（初版）  
最新データ作成年月：平成29年1月（第2版）